

発表企業のプロフィール

エーアイシルク株式会社

代表取締役社長 岡野 秀生 (年齢：56歳)

【住 所】：宮城県仙台市

【設 立】：平成27年6月1日 【資 本 金】：500万円 【従 業 員】：2名

【U R L】：http://www.ai-silk.com

【事業分野】：製造業

【サマリー（今回発表するビジネスプランの概要）】：

(1) 代表者のプロフィール（代表取締役 岡野秀生）

1990年にオリンパス（株）にてICレコーダ事業を立ち上げ、3機種の製品開発を経験した。

また、その経験を買われ社長直轄のデジタルカメラ開発プロジェクトのリーダーを歴任して、新規事業の立ち上げを行った。その後ITX（株）にて米国ベンチャー企業の投資育成やベンチャー立ち上げを経験し、平成25年から

（株）インテリジェント・コスモス研究機構にて地域連携コーディネータとして地域のネットワークを構築した。

(2) 顧客のペイン（痛みを伴うほど強いニーズのある課題）とターゲット市場規模、最大の競合について

・強いニーズ：長期間身体に着用できるスマートウェア（特に糖尿病、心疾患、終末期の患者や支援ロボットはニーズが強い）

(3) ソリューション（上記のペインを解決する技術と他社優位性等

・東北大学で研究開発された導電性シルク電極材料とその製造技術（知的財産：国際特許申請中）

(4) 収益モデル、サプライチェーン、パイプライン

・初期は導電性シルク電極の製造・販売とその製造用機器を販売（消耗品の販売含む）

・スマートウェアとその周辺機器の製造・販売（アプリケーションソフト）を販売、利益率を向上させる。

・市場に導電性シルク電極を認知させ、農業や自動車へ応用を広げ、量産工場を設立し、導電性シルク販売事業を拡大させる

(5) 売り上げ計画（損益分岐点の時期等）と今後の資金調達のタイミング

・主に小動物用の研究、実験用の導電性シルク電極を製造・販売。製造キットの販売とその消耗品を販売、周辺機器の製造販売を拡大させ、3年後に単期黒字化を目指す。

(6) エグジットプラン(株式上場又は事業・会社売却等)

・6年後に①製造用機器販売とそれに使用する消耗品の販売ビジネス、②スマートウェアとその周辺機器の製造・販売を拡大させ、③遺伝子操作の新世紀素材を導入・販売、④自動車用部品や農業プラント用シルク部品の製造販売の拡大、④新素材を応用研究開発する研究所を設立して、上場またはすでに業務連携して、シナジーのある協業企業へのM&Aを目指す。

(7) 事業の拡大する上で投資希望する事業内容

① スマートウェア用導電性シルク電極の製造コストを劇的に安くする印刷技術の開発

② 遺伝子組換えシルク素材を活用した新素材商品の開発（耐久性に優れるスマートウェアの開発）

③ 導電性シルク電極用電子回路プラットフォームの開発（LSIの開発、スマートウェアの開発）

【発表に向けた抱負・意気込み（経営の想い、VCへのメッセージ、求める事業提携・販路）シルク(絹)などの構造タンパク質の活用は未開拓で、石油資源に頼らず日本（地域）で供給でき、次世代素材として実用化し、世界に勝てる新世紀日本型ものづくり材料としてこの事業を是非立ち上げたい。

